

◆大阪・関西万博仕様「JALガンダムJET」

- ・機材 : ボーイング737-800型機(機体番号:JA342J)
全長:39.5m/全高:12.5m/全幅:35.8m
座席数:165席(クラスJ:20席、エコノミークラス:145席)
- ・初便 : 2025年3月3日 運航開始予定
- ・就航期間 : 2025年11月頃まで(予定)
- ・機用品 : ヘッドレストカバー(4月上旬より搭載)

※カバーの色はクラスJ、普通席で異なります。
※ヘッドレストカバーはお持ち帰りいただけません。
※状況により設置が終了となる場合があります。

詳細は、以下の専用サイトでご覧いただけます。



左:クラスJ

右:普通席

JAL × GUNDAM FLY TO THE FUTURE PROJECT 専用サイト

URL: <https://www.jal.co.jp/jp/ja/dom/special/expo/gnfp/>

JAL 大阪・関西万博特集ページ

URL: <https://www.jal.co.jp/jp/ja/dom/special/expo/>

◆限定ガンプラ付きJALダイナミックパッケージ

大阪・関西万博開催期間中、日本全国の各空港から関西地区へのJALダイナミックパッケージを販売します。ツアー販売開始は3月中を予定しています。

関西への航空チケットと関西での宿泊、「大阪・関西万博開催を記念したJAL仕様のガンプラ」(*1)がセットになっています。

ツアーの詳細については後日、「[JAL × GUNDAM FLY TO THE FUTURE PROJECT 専用サイト](https://www.jal.co.jp/jp/ja/dom/special/expo/gnfp/)」でご覧いただけます。

■旅行企画・実施 : 株式会社ジャルパック

観光庁長官登録旅行業第705号・(社)日本旅行業協会正会員



(*1)「大阪・関西万博開催を記念したJAL仕様のガンプラ」

商品名:

EXPO2025 1/144 RX-78F00/E ガンダム

(EX-001 グラスフェザー装備)[JAL スペシャルパッケージVer.]

大阪・関西万博「GUNDAM NEXT FUTURE PAVILION」内の映像に登場する「RX-78F00/E ガンダム」を、1/144スケールのプラモデルとして立体化。JALをイメージしたオリジナルデカール(プラモデル本体に貼るシールの一種)が付属しています。パッケージデザインは大阪・関西万博仕様「JALガンダムJET」を配した特別仕様です。

◆ガンプラなどコラボグッズを「おうちで機内販売」にて販売



大阪・関西万博開催期間中、JALオリジナルカラーのガンプラなどを「おうちで機内販売」(*2)にて数量限定で販売します。

(*2)JAL国内線にご搭乗の際に、機内Wi-Fiを利用して事前登録いただくと、ご登録後3日間機内販売品をご購入いただけるサービスです。

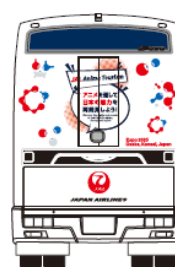
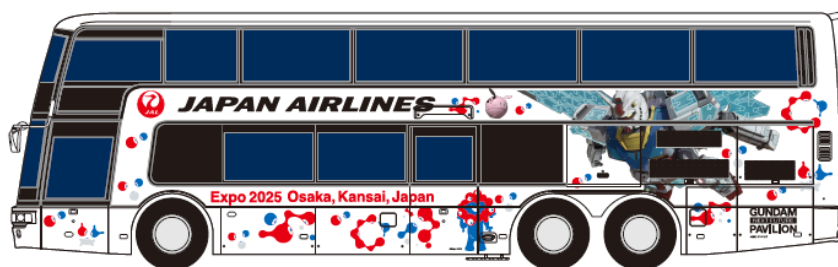
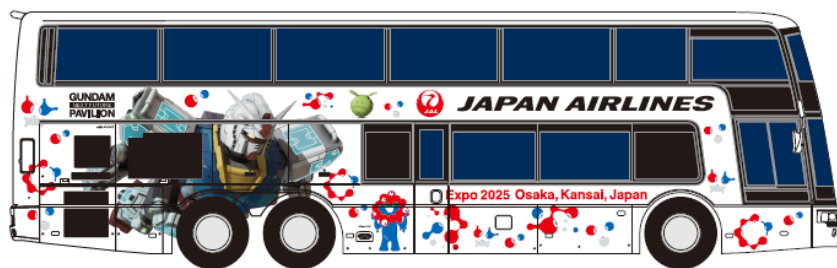
商品名 : HG 1/144 RX-78-2 ガンダム [JAL オリジナルカラーVer.]

JALのコーポレートカラーである赤・白・グレーを機体色として採用。白いボディに赤の差し色が映える美しい仕上がりです。パッケージも白と赤を基調としたシンプルなデザインでJALらしさを演出しています。

◆大阪・関西万博仕様「JAL×ガンダム レストランバス」の運行

JALは、天井を開放した高さ約3mの2階建てレストランバスに、大阪・関西万博仕様「JALガンダムJET」と同様のデザインを塗装し、万博会期中全国各地で運行します。レストランバスでは、1階キッチンから提供する温かいお料理を、2階のレストラン空間でお召し上がりいただけます。運行するその土地の郷土料理や名産品を開放的な車内空間で車窓からの景色と共に楽しみください。

※運行する地域やスケジュール、提供メニューなどについては現在調整中です。決定次第 [JAL×GUNDAM FLY TO THEFUTURE PROJECT専用サイト](#)にてお知らせする予定ですので、詳細発表まで今しばらくお待ちください。



「GUNDAM NEXT FUTURE PAVILION」とは

バンダイナムコが大阪・関西万博に出展する「GUNDAM NEXT FUTURE PAVILION」は、グループのパーパスである「Fun for All into the Future」のもと、ガンダムを通して世界中の人々をつなぎ、ともに「未来」を考えるきっかけの場となることを目指しています。パビリオン外観は未来のスペースエアポートをイメージしたデザインで、内部ではガンダムシリーズが描いてきた「宇宙での暮らし」や「まだ実現していない科学技術」を、臨場感あふれる映像と8つのフェーズからなる空間で表現。全高約17mの実物大ガンダム像も見どころです。



©創通・サンライズ

※画像はすべてイメージです。

※プレスリリースの内容は発表日現在のものであり、予告なく変更する場合があります。